

試合番号 : 121	試合会場 : ウイングアリーナ刈谷	観客数 : 1,114		
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:41	試合時間 : 01:41		
主審 : 城 智人	副審 : 沢田 元			
ジェイテクトSTINGS	通算 4勝 1敗 ポイント : 10	20 第1セット 25	パナソニックパンサーズ	通算 5勝 0敗 ポイント : 15
監督コメント 大変悔しい敗戦となりました。苦しいチーム状況の中でしたが、選手達は今出せる力を出してくれたと思います。今日は皆さんの応援ありがとうございました。また明日の試合に向けて気持ちを切り替えて臨みます。引き続き、よろしくお願いたします。	1	19 第2セット 25	3	今日の試合はいつもとは違う雰囲気だったと思います。不思議な環境でプレーしましたが、勝てたことは嬉しいですが、明日も勝てるよう頑張りたいと思います。応援よろしくお願いたします。
		27 第3セット 25		
		11 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 開幕4連勝同士で迎えたジェイテクトSTINGSとパナソニックパンサーズの対戦。第1セット、パナソニックは清水の攻撃で序盤にリードを奪う。ジェイテクトはフェリペの効果的なサーブから連続得点を奪い18-18の同点に追いついたが、パナソニックが久原のサービスエースで流れを戻し、セットを先取る。第2セット、ジェイテクトがフェリペのブロックと攻撃の連続得点でリズムに乗ったかに見えたが、中盤にパナソニックは久原と清水の攻撃で4連続得点を奪い、その勢いのままセット連取した。第3セット、ジェイテクトは第2セット途中でコートに入ったセッター久保山をスタートから起用。ジェイテクトは序盤にフェリペと福山のブロックでリードした。終盤、パナソニックはクビアクのブロックと攻撃の連続ポイントで24-24に追いついたが、最後はジェイテクトのフェリペが2連続アタックを決め、セットを奪い返す。第4セット、パナソニックは序盤に清水の攻撃ポイントで勢いに乗ると、クビアクと久原の連続ブロックポイントで突き放し勝利した。ジェイテクトは終盤に投入した金丸がブロックを決め期待に応えたが、反撃には及ばなかった。				

試合番号 : 122	試合会場 : 岡谷市民総合体育館	観客数 : 580		
開始時間 : 11:00	終了時間 : 12:22	試合時間 : 01:22		
主審 : 戸川 太輔	副審 : 浅井 唯由			
FC東京	通算 1勝 4敗 ポイント : 3	25 第1セット 19	大分三好ヴァイセアドラー	通算 0勝 5敗 ポイント : 0
監督コメント 初勝利をあげることができて、嬉しく思います。序盤はかたさがありました。第1セットの間に取戻せたことが大きかったと思います。大分三好の強いサーブに対して、うまく対処ができました。明日も緊張のある試合となりますが、我々のパーボールを出し切りたいと思います。本日も応援ありがとうございました。	3	25 第2セット 19	0	チームとして相手に立ち向かっていく意識がセットを重ねるごとに下がっていったことが負けたこと以上に悔しい点です。明日は修正し、勝利を目指して戦います。本日はご声援ありがとうございました。
		25 第3セット 16		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 今シーズンの初勝利を懸けたFC東京と大分三好ヴァイセアドラーとの対戦。第1セットは序盤から一進一退の攻防が続く中、FC東京が手原のサーブ、レシーブから流れを掴み、押し切る形でセットを先取した。第2セットは両チームのサーブレシーブが安定し、互いに得点しあう展開となったが、リリーフレシーバー橋の投入を機に流れを掴んだFC東京がセットを連取した。第3セット、序盤は大分三好が5-3とリードしたが、FC東京は栗山の緩急をつけたサーブで8連続得点し逆転に成功。プレモビッチの連続ブロックや、安定したサーブからチャンスボールを攻撃に結び付けたFC東京が終局リードを保ち、ストレートで勝利した。				

試合番号 : 123	試合会場 : 岡谷市民総合体育館	観客数 : 795		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:29	試合時間 : 01:29		
主審 : 澤 達大	副審 : 新田 浩幸			
VC長野トライデンツ	通算 0勝 5敗 ポイント : 1	20 第1セット 25	サントリーサンバーズ	通算 4勝 1敗 ポイント : 11
監督コメント ホームで今シーズンの初勝利を挙げたかったが、サントリーにゲームをさせてもらえませんでした。明日はしっかりと修正し、相手にプレッシャーをかけていけるようなディフェンスからの攻撃をサポートする皆さんに見せていきたいです。本日も会場に足を運んでいただき、また熱いご声援をいただきありがとうございます。明日のホームゲームも応援よろしくお願いたします。	0	14 第2セット 25	3	VC長野のホームということもあり、独特な雰囲気の中のゲームとなりました。出だしは自チームのサーブミスが目立ちましたが、第2、第3セットは修正できたと思います。第2セット以降はVC長野の強いサーブに崩されるシーンもありましたが、競った展開でも選手たちは自分達の役割を全うしてくれたと思います。明日もVC長野との対戦となりますので、もう一度しっかりと準備をして臨みます。長野の多くのファンの声援の中で試合できたことに感謝します。沢山の声援ありがとうございました。
		23 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 初勝利をあげたいVC長野トライデンツと、現在3勝で更なる上昇気流に乗りたいサントリーサンバーズの対戦。第1セット、サントリー柳田のバックアタックから始まり、序盤は互いに攻撃を決め、サイドアウトを取り合う拮抗した展開。VC長野は終盤まで粘りを見せ2点差で喰らいついたが、サントリーはリリーフサマー西田の起用が成功し、ムセルスキーの攻撃や塩田のブロックでリードを広げ、セットを先取る。第2セット、サントリーはムセルスキーの圧倒的な高さのスパイクなどで4点連取。更に柳田のサーブで相手を崩し、5連続得点でリードを広げ、最後は小野のブロックが決まり、25-14でサントリーがセットを連取する。第3セット、柳田、ムセルスキーの攻撃を軸に、相手に思い通りの攻撃をさせず終局リードするサントリーに対し、VC長野は池田、戸寄、リヴァンの攻撃で食い下がり、22-22で追いついたが、最後は柳田のバックアタックがブロックアウトを奪い、サントリーが4勝目を手にした。				

試合番号 : 124	試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)	観客数 : 1,100		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:33	試合時間 : 01:33		
主審 : 原 啓之	副審 : 村中 伸			
ウルブドッグス名古屋	通算 3勝 2敗 ポイント : 9	27 第1セット 25	堺ブレイザーズ	通算 3勝 2敗 ポイント : 10
監督コメント お互いの気迫のこもったプレーによって、非常に厳しい試合となりました。先週の課題であったラリー中のコンビネーションはコミュニケーションをとることで、良くなってきたと思います。明日も同じ対戦相手となりますが、これから試合に向けてよい準備をしたいと思っております。豊田合成記念体育館 エントリオ で、初の公式戦ができたことに感謝申し上げます。応援いただいたサポーターの皆様、ありがとうございました。	3	25 第2セット 20	0	第1セット、逆転を許してしまったことが大きな要因であったと思います。きっちり取れていれば混戦に持ち込めたと思います。WD名古屋のクレク選手は3セットで24点と素晴らしい活躍で、特別な選手でした。我々の攻撃は決して悪くなかったため、また明日切り替えてしっかりと戦います。本日も皆さんの応援ありがとうございました。明日も皆様のために戦います。
		25 第3セット 20		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート ウルブドッグス名古屋と堺ブレイザーズの対戦。第1セット、堺は樋口、関田の連続ブロックや高野のスパイクが決まり、中盤で抜け出したかと思われたが、WD名古屋はメンバーチェンジでリズムを変えることに成功。クレクのスパイクが鋭く決まりだし、終盤が競り合いを制し、WD名古屋がセットを先取した。第2セット、WD名古屋はサーブで相手のリズムを崩し、ブロックで狙いを絞る、攻撃につなげてセットを連取した。堺はWD名古屋のサーブにより攻撃の幅を広げられず、ジョンと途中出場の前千木が奮闘するも及ばなかった。第3セット、堺はメンバーを代えて臨み、要所で出島田などのスパイクで得点するが、WD名古屋クレクの勢いは止まらず、WD名古屋がエントリオでのホームゲーム初戦を勝利で飾った。				

試合番号 : 125		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,300	
開始時間 : 15:30		終了時間 : 16:55		試合時間 : 01:25		主審 : 中山 健	
副審 : 江下 毅		通算		5勝 0敗		ポイント : 15	
JTサンダーズ広島		25		第1セット		19	
監督コメント 本日も沢山のご声援ありがとうございました。この試合に向けて対策したこととお、選手たちがコートの中で表現できたことが勝因だと思います。今日見えた課題を修正して、明日も勝利を目指します。		25		第2セット		23	
		25		第3セット		21	
				第4セット			
				第5セット			
		3				0	
		通算		0勝 5敗		ポイント : 1	
				東レアローズ			
						細かいミスが多く出てしまい、なかなかチームが乗り切れない状態になってしまいました。ここを修正できていかないと、勝ちは見えてこないと思います。明日、もう一度気持ちを作って戦っていきます。本日は沢山の応援ありがとうございました。	
要約レポート 開幕から負けなしのJTサンダーズ広島と、早く1勝をあげたい東レアローズの一戦。第1セット、東しの李のアタックポイントから試合はスタート、東しはパダルにトスを集め、得点を重ねる。対するJT広島はセッター深津のトスワークが牙え、クイックを有効に使った攻撃で得点を重ねる。序盤は互角の勝負となったが、中盤、JT広島は要所でエドガーがアタックを決めるなど、6連続得点で東しを突き放す。終盤もJT広島が陳のサイドからのアタックやミドルブロッカーのクイックなど、安定した攻撃でセットをものにした。第2セット、JT広島の小野寺が2本のブロックを決め、リードする展開。東しも星野、パダル、李の攻撃で食らいついていく。JT広島が終始リードして試合を優位に進めたが、17-20の場面でパダルが、21-23の場面では高橋がブロックを決め東しも流れを作る。終盤はもつれたが、最後はJT広島がエドガーのアタックでセットを連取した。第3セット、東しはこのセットのスタートから入った米山や、富田のレフトからのアタックで反撃する。一矢報いたい東しは、中盤にパダルが強烈なサーブで崩し、自身のバックアタックで強打を決める場面が連続したが、要所でのミスが響いた。JT広島は安定したバレーで、東しの追従を許さず、最後は武智のアタックで開幕5連勝を決めた。							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット			
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット			
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		ポイント : -	
監督コメント				第1セット			
				第2セット			
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							